

にゅうえんおめでとう
ひがけ

日之影町議会だより

No.21
2015.4.17

発行編集：日之影町議会編集委員会



ご入園おめでとうございます。(中央保育園)

| | | |
|-----------------------------------|--|---|
| 平成27年度 一般質問 平成26年度 議員&対談 | 一般会計予算並びに施政方針に対する総括質疑 予算審査特別委員会報告・主な議案 一般会計補正予算(第5号・第6号)・特別会計予算 議員&対談 | ・ P 2 P 3~4 P 4~6 P 7 P 8~9 |
|-----------------------------------|--|---|

■平成27年度 一般会計予算■

3月定例議会

第1回定例会は、3月3日に開会し、同意2件・諮問2件・議案30件・所管事務調査報告1件は原案のとおり可決した。

一般質問には3名が登壇し、町長・教育長に質問、3月20日に閉会した。

総額48億5千万円（対前年比3.0%減）

主な歳出

| | |
|----------------------------------|-----------|
| 議会費（議員報酬・職員人件費・議会運営一般事業費等） | 5,256万円 |
| 総務費（高千穂鉄道施設撤去事業費及び移動通信用鉄塔整備事業費等） | 7億5,746万円 |
| 民生費（福祉事務事業費等） | 8億6,946万円 |
| 衛生費（母子保健・健康増進・環境衛生・保健センター事業等） | 3億5,832万円 |
| 農林水産業費（営農飲雑用水施設整備事業及び道整備交付金事業費等） | 8億112万円 |
| 商工費（木質バイオマスボイラー導入事業費等） | 1億8,441万円 |
| 土木費（住宅団地整備事業費等） | 5億7,510万円 |
| 消防費（西臼杵広域行政事務組合負担金等） | 1億1,478万円 |
| 教育費（八戸小学校屋内運動場耐震化事業費等） | 3億1,992万円 |
| 公債費（町債の償還金元金・利子等） | 7億4,306万円 |



経済建設常任委員会総括質疑

- 1、新エネルギー開発「木質バイオマス」と雇用の取り組みと構想について問う。
- 2、商工業の厳しい現状の打開策等について問う。
- 3、林業の持続可能な森林造成と有害獣の対策等について問う。
- 4、生活基盤の整備と地方道の道路マスタープラン等について問う。
- 5、農業の振興「日本型直接支払制度」の取り組み等について問う。

総務文教常任委員会総括質疑

- 1、第5次長期総合計画及び各種施策、更には地方創生への取り組みが最重要課題であるが、町長の所見を問う。
- 2、新年度から運用開始となる「西臼杵消防署」の運用に当たり、今後予想される課題について問う。
- 3、少子化・定住・人口増対策について「子ども広場」を新設するとありますが、その所見を問う。
- 4、各種がん検診・特定健診の未受診者等に、各公民館において健康講座の開設と保健事業に対する基本的な考えを問う。
- 5、教育行政について、豊かな人間性・基礎体力の増進及び各種クラブ活動に対し、行政の支援が必要と思うが、所見を問う。
- 6、病院経営について、運用開始となる「西臼杵消防署」との連携及び救急医療の受け入れ体制、地域医療の充実について問う。

予算審査特別委員会委員長報告

一般会計当初予算については、前年度より3.0%減の48億5千万円で構成されており、特別会計では、国民健康保険事業・介護保険・後期高齢医療費等については、医療費・介護保険料の引き上げ等の増により、対前年比でそれぞれ増額の予算になっている。

本町のような中山間地域においては、未だ景気回復の兆しは見られず、景気低迷が続いている状況の中において、今年度から新たに「まち・ひと・しごと創生」に関する「総合戦略」の策定に、職員が一体となり、現状課題の分析・解決に努力をし、更には「第五次日之影町長期総合計画」や「日之影町過疎地域自立促進計画等」の各種施策と共に、整合性・投資的効果等も十分に勘案する必要がある。

また、効率的な行財政運営には、今まで以上に職員・議会が一丸となり、知恵を出し合い、時には大胆に「町民の安心・安全な町づくり」のために、全力で取り組み、課題となっている「病院経営・改善対策」の「町立病院経営検討委員会」は、今後も、病院の在り方等について、引き続き努力が求められる。

また、4月運用開始の「西臼杵消防署」との連携による、救急医療体制の構築を高め、円滑な運用のため、3町の継続的な協議・検証が望まれる。

同意（2件）

○教育委員会委員の任命

木下供美氏（神影下）を委員として選任。

○監査委員の選任

高尾学氏を引続き監査委員として選任。

諮問（2件）

○人権擁護委員の推薦

押方光徳氏（椎谷）と、細木栄子氏（八戸）が引続き委員として選任。

条例の制定（3件）

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定

教育長が教育委員会の会務を総理し、代表する責任者として特別職となることから、教育長の給与・勤務条件等に係る関係条例の改正等が必要になり、当条例により一括して関係条例の改定。

○教育長の勤務時間、休日、

休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例の制定

前議案と同じく、法律の改正により教育長の勤務時間・休日・休暇等及び職務専念の特例について条例を制定。

○日之影町指定介護予防支援事業の指定基準を定める条例の制定

これまで国の基準に基づいて、要支援者の予防プランや相談・支援業務等を全国一律で行っていたが、市町村の基準で事業を行うため条例を整備。

条例の改正（6件）

○日之影町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
職員給与に関する条例を改正するもの。職員給与表の1・7%引き下げと、職員の間外勤務単価の算出法の変更。
○日之影町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

今回の改正は、労働基準法の改正に伴い月60時間を超え

る時間外労働をした場合に、代休を取得出来る規定を新たに設ける。

○日之影町行政手続き条例の一部を改正する条例

改正の内容は、法令に違反する事実を正のための処分又は行政指導を求めることが出来る「処分等の求め」、法律の要件に適合しない行政指導の中止を求めることができる「行政指導の中止等の求め」の手續きを新たに設ける。
○日之影町小学校就学前の子供に係わる保育必要量の認定基準を定める条例の一部を改正する条例

これまで児童福祉法第24条第1項の規定に基づいて保育の実施規定を定めていた「日之影町の保育所における保育の実施に関する条例」を廃止。
○日之影町の保育所における保育の実施に要する保育費用徴収条例の一部を改正する条例

「子供・子育て支援法」が施行されたことに伴い、表題を

「日之影町特定教育・保育の実施に関する費用徴収条例」に定め、条文中の「保育所」を「特定教育・保育施設等」に、「保育所の実施に要する費用」を「特定教育・保育の実施に関する費用」に改正。

○日之影町介護保険条例の一部を改正する条例

標準的な介護保険料を年額58,800円、月額5,600円とする。また要支援等の介護サービスを町の判断により介護予防・日常生活支援総合事業に移行する経過措置について、附則で定める。

条例の廃止（1件）

○日之影町火災予防条例を廃止にする条例

平成27年4月1日に西臼杵広域行政事務組合消防本部「西臼杵消防署」が運用を開始し、西臼杵3町に係る西臼杵広域行政事務組合火災予防条例が制定されるため、本条例を廃止。

辺地に係る変更と計画

- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
小原辺地の「町道 神影下小原線」事業費の増額。
- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画について
辺地の統合により10地区から8地区に変更され、今後も8地区に於ける施設整備を行う。
- 日之影町過疎地域自立促進計画の一部変更について
3件の事業を追加し、1件の事業の財源の内訳と、1件の事業費を変更。

経済建設所管事務調査報告書

- 《調査実施日》
平成27年2月9日
- 《調査場所》
町内5箇所
- 《調査項目》
青年就農給付金事業
- 《受給者現地調査》
今回は、花卉施設園芸2ヶ所・畜産経営2ヶ所・葉タバコ露地栽培1ヶ所の農家の事業内容や取り組み等について視察した。

【所見】

経営していく上で立ちはたかる問題・課題を抱えながらも、創意工夫され、一生懸命に頑張っておられる様子が伺えた。モデル農家として、また地域のリーダーとして、更に努力していただくことを期待したい。



一 般 質 問

「旧宮崎部品工場跡地の建物と敷地を活用した雇用創生について」

飯 干 静 香



旧宮崎部品工場跡地

問 誘致活用を進めてきた経緯は。

町長 閉鎖されて4年が経過、町行政は県と一体となり、あらゆる角度から県内外に情報発信、町内からの提言もあつたが、採算性が取れないということで断念された経緯もあり、また多くの企業が跡地の見学に来られ、または県と共同で訪問に出向き、昨年は6社・今年度7社、他にも企業訪問面談等に努力してきた。

問 今後の活用は。

町長 企業誘致の為に残した施設である。県企業立地推進局・北部広域事務組合定住自立圏構想で、協定を結んでいる延岡市等と、連携を密にして、企業進出の情報をもとめ今後も引き続き、企業誘致活動は粘り強く進めていく。

問 今後の構想と「地方創生総合戦略」、雇用の場としてどう生かすのか。

町長 民間投資を呼び起こす成長戦略へと経済政策は大きく転換し、地方創生による活力の再生が動き出したが、どの自治体も取り組んでいる課題でもある。今後の活用については、町内経済団体・若い世代の斬新な意見・アイデア・情報提供等をいただきながら、十分な検討を進めていく。

「新年度基本施策方針について」

一 水 輝 明



露地栽培夏秋ナス圃場

問 町長に就任された一年が経過したが、二年目を迎えるの感想と新しい取り組みについて聞こう。

町長 町民皆様のご支援、ご指導により町長の職を勤めさせていただき、改めて厚くお礼を申し上げます。現在「長期総合計画」と連携し、「地域創生本部」を設置

し進めている。27年度は、地域総合戦略の策定の年でもあり、現状課題を分析し、課題解決に的確に対応できる策定と推進が重要な施策と考えている。

問 先に実施されたアンケートの集計が報告されたが、町長の見解を聞こう。

町長 本町への愛着度、本町に住み続けたいと答

えた方が87%を超えており、改めて町民の皆様の愛着度を感じた。一方、道路網の整備・医療体制・福祉の充実・定住促進・就労の場の拡充等の要望、また職員の接遇・病院の運営については、ご意見も数多くあり、真摯に受け止め、笑顔で明るく町民と接することを心掛けていく。

「農業振興・地域活性化事業について」

問 農業を取り巻く環境は、常に厳しい状況にあるが、夏秋野菜・花卉品目に対して種苗代等の一部助成が必要と思うが、町長の見解を聞こう。

町長 夏秋期における野菜・花卉生産については、本町農業の主要品目でもあると認識している。新品目・新規就農者の方には、県の補助事業・町単事業により支援を行っている。今後とも、生産者の要望に応じた事業の見直しを視野に入れながら、支援していく。

問 地域リーダーの育成の必要性和、具体的な施策について聞こう。

町長 地域活性化については、「日之影未来づくりに推進事業」の中で、意見交換会・人口減少の問題を考えたワークショップ・県内外の視察研修の計画を行い、自分の住む地域の見直しや、よりよい方向へ導くため、リーダーとして将来の日之影を担う人材の育成に努めていく。

「保健事業について」

問 各種がん検診受診の推進の中で、ヤング検診の受診率と推進が重要と思うが、町長の見解を聞こう。

町長 ヤング検診においては、平成22年度から26年度までの受診者数は、延べ185名です。必要に応じて個別指導・訪問指導を行い、新年度も多くの方に健康に関心を持っていただき、生活習慣病の予防及び改善に努めていく。

「本町に於ける空家対策とその有効活用及び課税の現状について」

甲斐睦彦

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の施行にあたって」

問 全国的に「空家問題」が取りだたされている。治安や防災、景観の面からも懸念される。しかしながら「田舎に住みたい」「田舎で暮らしたい」と言った声も聴く。本町の空家を利用して、移住者の受け入れや農村宿泊体験施設等の活用が見込まれる。本町に於いての「空家バンク」の創設の考えはなにか伺う。

町長 「空家対策特別措置法」を踏まえ対策を講ずる。有効活用については平成19年に「日之影町空家情報システム」を設立しているが、現在のところ、様々な課題を抱えるため、登録は1件のみの状況である。今後空家を利用した施策は「地方創生」で取り組むべき重要な課題と捉えている。

問 現在の空家の固定資産税の滞納は無いかどうか伺う。

町長 現在では滞納者はいない。

空家対策措置法（27・5施行）でここが変わる！

- [1]自治体が固定資産税の課税情報を利用し空家の所有者を特定できる！
- [2]特定空家には立ち入り調査、罰金徴収、強制撤去を求める事が出来る！
- [3]更地よりも空家の方が有利な税制も撤廃され固定資産税が増える！

政府指針
「1年間不使用」
目安！

※ 空家対策基本指針のポイント

- ★ 人の出入りや電気・ガス・水道の使用状況から判断。判断基準として1年間を通じて使われていない状態を例示。
- ★ 移住者の受け入れや住宅や農村宿泊体験施設、集会所や交流サロンとしての活用が可能。
- ★ 市区町村の対策計画の作成に当たっては、重点対策地区や優先順位の設定も重要。中心市街地や郊外の団地で生活環境に深刻な影響が出ている場合は、先行的に計画を作る事も出来る。

■教育委員会制度、こう変わる！

「教育委員長」と「教育長」を一本化！

- ★ 教育行政に於ける責任体制の明確化！
- ★ 教育委員会の審議の活性化！
- ★ 迅速な危機管理体制の構築！
- ★ 地域の民意を代表とする首長との連携の強化！
- ★ いじめによる自殺等が起きた後に於いても、再発防止の為に国が教育委員会に指示できる事を明確化！

問 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の施行する4つのポイントが掲げられている、「総合教育会議」をどのように活用していくのか伺う。

教育長 「総合教育会議」は首長が招集を行う。この事によつて、首長が教育行政に果たす責任や役割が明確になり、両者が教育施策の方向性を共有し、執行に当たる事が可能になる。しかし、現在の任期満了までは現行制度のもとに教育行政は行われる。

■平成26年度 一般会計補正予算(第5号)■

一般会計

歳入歳出補正
補正後の総額

1億622万円
52億1,585万円

今回の補正は、歳入においては、普通交付税の増額、歳出においては、病院事業会計繰入金、町道舗装・舗装事業・住宅団地整備事業及び国の補正予算の成立を受けて実施する事業の増額に伴う補正並びに事業費確定に伴う補正が主なものであります。

歳入の主なもの

| | |
|--|-----------|
| 町 税 (町民税等) | 596万円 |
| 地方譲与税 (自動車重量譲与税) | △300万円 |
| 自動車取得税交付金 | △200万円 |
| 地方交付税 (普通交付税) | 1億1,347万円 |
| 国庫支出金 (地域住民生活等緊急支援交付金等) | 2,416万円 |
| 県支出金 (農業水利施設保全合理化事業及び被災農業者向け経営体育成支援事業補助金等) | △2,740万円 |
| 繰入金 (減債基金繰入金等) | △4,589万円 |
| 諸収入 (グリーンプラン・パートナーシップ事業等) | △204万円 |
| 町 債 (町道整備事業債等) | △5,310万円 |

歳出の主なもの

| | |
|---|----------|
| 議会費 (議員期末手当等) | △107万円 |
| 総務費 (地域住民生活等緊急支援交付金事業等) | 2,320万円 |
| 民生費 (臨時福祉給付金事業等) | △936万円 |
| 衛生費 (病院事業会計繰入金等) | 2,447万円 |
| 農林水産業費 (被災農業者向け経営体育成支援事業及び農業水利施設保全合理化事業等) | △5,458万円 |
| 土木費 (町道改良・舗装事業及び住宅団地整備事業等) | 4,637万円 |
| 消防費 (消防団員報酬等) | △232万円 |
| 教育費 (県大会等派遣費補助金等) | △379万円 |
| 災害復旧費 (農林水産施設及び土木施設災害復旧事業) | △760万円 |
| 公債費 (長期債借入償還利子) | △636万円 |
| 予備費 | 152万円 |

■平成26年度 特別会計補正予算(第5号)■

| 会 計 名 | 歳入歳出補正額 | 補正後の額 |
|---|---------|-----------|
| 国民健康保険事業特別会計 (共同事業拠出金及び共同事業交付金の確定に伴う補正が主なもの) | △179万円 | 8億6,352万円 |
| 簡易水道事業特別会計 (繰入金と維持修繕費の補正が主なもの) | △109万円 | 8,355万円 |
| 奨学資金事業特別会計 (奨学資金貸付者の決定に伴い、貸付金を減額したため、基金繰入金を減額し積立金を増額するもの) | △29万円 | 780万円 |
| 介護保険特別会計 (介護保険制度改正に伴う電算システム改修費の追加補正が主なもの) | 157万円 | 7億683万円 |
| 後期高齢者医療特別会計 (宮崎県後期高齢者医療広域連合に納付する後期高齢者医療保険料負担金の増額に伴うもの) | 41万円 | 5,805万円 |

■平成26年度 一般会計補正予算(第6号)■

歳入歳出補正
補正後の金額 903万円
52億2,488万円

今回の補正は、歳入においては、県支出金(県補助金)の増額、歳出においては、総務費の地域住民生活等緊急支援交付金事業の増額に伴う補正が主なものです。

【内 訳】・高齢者生活応援金 501万円
・プレミアム商品券発行事業補助金 402万円 (地域消費喚起・生活支援型事業費)

議員&対談

第2回「日之影町消防団 新団長に聞く」

【工藤久則新団長&甲斐睦彦議員】

【甲斐議員】

日之影町消防団新団長おめでとうございます。

就任に当たって抱負をお聞かせ下さい。

【工藤団長】

ありがとうございます。

抱負と言うか、とにかく諸先輩方の築かれた、この伝統ある、かつ、素晴らしい業績を収めている消防団を、衰退することなく継続するという事を念頭に置いて、団長としての職務を務めて

まいります。皆さんご存知

のように、前々団長の寺崎先輩、それから今回の興梠副団長と日之影町消防団と

しては、大きな力を失いました。お二人共に、志半ばでの急逝だった事は、そばに仕えていて痛いほど理解しております。お二人の想いを無駄にせぬよう、気持ちを引き締めて団員を引っ張って行こうと思っております。

この事は新幹部団員一同確認のもとに、一枚岩で乗

り切ろうという強い決断をしたところです。

【甲斐議員】

今年、4月に「西白杵広域消防署」がよいよ運用開始と成り、住民の安心安全が一層期待されます。消防団と消防署との連携について、どの様に考えられますか？

【工藤団長】

そうですね、これまでと大きく違うのが、町内消防団の力というか、機動力をそのままいかしつつ、広域との連携を作り上げていかなければならないという事が一番の課題だと感じています。これまでの経験から民家火災の場合、日之影の民家は山間部の高低差のあるところに点在しており、水利の状況、容量も限られます。従って中継送水という作業は、欠かせない作業

であり大勢の人出を要します。又、初期消火において

は、地元の団員はもちろんですが、団OBの方々と結成、協力いただいている支援隊の皆様を含めたところの、広域との連携を模索しなければと考えております。これは、火災に限らず台風、大雨等々の災害時にも言える事で、危険個所等の知識は、地元の支援隊の方々が一番詳しいと感じております。それから、4月から町役場においての、救急車の常備が無くなります。私自身、11月末から2件程、人の命の瀬戸際に立ち会い、初期救急救命の重要性を痛感しております。昨年度も町内の幾つかの公民館単位での初期救急救命の訓練をさせて戴きました。これまでもと違うところは救急救命士が常に同乗しており、到着後初期の処置を行うことで、救命率を高めることと



思います。以上のことから、団本部としましては、町当局、地域の皆さんとの連携で各地域での救急救命の指導等の訓練に特に力を入れて行きたいと考えております。



甲斐議員

「日之影町消防団と言え
ば操法」「操法と言えれば日
之影町消防団」と言われる
ように成りました。町民に
とっては誇りであり、大き

く期待するものであります。言い換えれば、県内の消防団が「日之影を追い越せ、追い抜け」だと、目標になつていえると思います、来年は全国大会の年です。意気込みは？

工藤団長

もちろん意気込みは十分にもつております。本部としましては、団員、要員の皆さんが気持ちよく訓練が行える環境を整えるだけだと考えています。そうすれば自ずと結果は見えてくると信じております。是非、全国出場を決めて、町の活力に貢献できればと考えています。

甲斐議員

東北大震災から四年が過ぎました。町内にも多く「防災士」の有資格者がおられます。今後30年以内に高い確率で南海トラフ地震が懸念され沿岸各地で、津

波に対する避難訓練、避難タワーや避難マウンドが建設されており備えが着々と進んでいるようです。消防団としての役割も考えなければ成らないと思えますが？お聞かせ下さい。

工藤団長

時代と共に、災害、天災も多様化している様に感じます。現在、本町に於いても台風時の避難場所の開設、避難誘導等の要領が定着しつつあります。しかし、地震等はいつ起こるか分かりません特に田舎は、交通環境が悪いので自家用車に頼らざるをえません。たとえば避難用品の常備携行とか、ヘルメット、簡易無線などの携行も出来ればと考えます。田舎の町は、皆で協力し合つて守らなければなりません。団員の勤務する事業所への益々のご理解とご協力をお願いしなければいけないと考えております。

いずれにしても、日之影町消防団員としての魂と信念を持ち貫いて行こうと考えます。

甲斐議員

町民の「安心・安全」を築いて戴き、尚一層の御活躍に期待します。本日は有り難うございました。



去る2月19日に開催された県議長会定期総会で、次の方々が表彰されました。

全国町村議会議長会表彰

* 議員として15年以上在職

佐保満男氏
甲斐徳仁氏
大村直登氏

宮崎県町村議会議長会表彰

* 議員として12年以上在職

坂本和雄氏
甲斐健司氏
杉本道生氏

議会への要望

★ 日之影町商工会

★ 徳富集落

★ 戸川岳徳富・中尾・戸川造林組合

議会にご案内を頂き
ありがとうございました。



議会傍聴の皆さん

- ・ 小崎神社大祭
- ・ 徳富神社大祭
- ・ 一の水神社大祭
- ・ 八戸上神社例祭
- ・ 糸平集落春まつり

議会のうごき

(平成27年1月～平成27年4月)

| | | |
|--------------------------------------|--|---|
| 1月18日(日) 新春少年の主張発表大会 (町民センター) | 19日(木) 降灰対策要望 (宮崎) 県町村議長会定期総会 (～20日 宮崎) | 13日(金) 予算審査特別委員会 議会報編集委員会 |
| 19日(月) 郡議長会県庁新年あいさつ (宮崎) | 22日(日) 宮崎地区日之影町人会 (宮崎) | 16日(月) 辺地事業計画現地調査 (町内) |
| 25日(日) 町駅伝競走大会 (癒しの森運動公園) | 23日(月) 県道向山日之影線整備促進期成同盟会現地視察・要望 (大人・古園公民館) | 17日(火) 日之影中学校卒業式 平成27年第1回定例会 本会議(一般質問) |
| 26日(月) 九州中央自動車道熊本・宮崎合同提言活動 (～27日 東京) | 25日(水) 冬季品目花束贈呈式 (花卉園芸組合より) | 20日(金) 平成27年第1回定例会 本会議(閉会) |
| 27日(火) 郡林活協議会役員会 (五ヶ瀬) | 25日(水) 議会運営委員会・全員協議会 町椎茸振興会定期総会 (福祉館) | 23日(月) 議会報編集委員会 議会報編集委員会 |
| 28日(水) 時局講演会 (木城町) | 26日(木) 高千穂地区高齢者教室卒業式 (福祉館) | 25日(水) 町内各小学校卒業式 |
| 29日(木) 視察研修(綾町・宮崎市) | 27日(金) 西臼杵広域行政事務組合議会全員協議会・定例会 (高千穂) | 26日(木) 高齢者大学・高齢者教室卒業式 (福祉館) |
| 30日(金) 西臼杵広域行政事務組合議会臨時会 (高千穂) | 2月2日(月) 旭化成との意見交換会 (延岡) | 27日(金) 西臼杵広域行政事務組合議会全員協議会・定例会 (高千穂) |
| 2月2日(月) 旭化成との意見交換会 (延岡) | 3月1日(日) 高千穂高校卒業式 (高千穂) | 30日(月) 議会報編集委員会 |
| 5日(木) 知事との意見交換会 (高千穂) | 3日(火) 平成27年第1回定例会 本会議(開会) | 4月1日(水) 消防団長辞令交付式 西臼杵広域行政事務組合消防本部開所式 (高千穂) |
| 6日(金) 知事とのふれあいフォーラム (団七の館) | 5日(木) 平成27年第1回定例会 本会議 (総括質疑) 議会運営委員会・全員協議会 | 5日(日) 丹助岳山開き 新入消防団員辞令交付 |
| 8日(日) 町民のつどい (宮水小体育館) | 9日(月) 教育委員会委員辞令交付式 | 6日(月) 議会報編集委員会 |
| 9日(月) 経済建設常任委員会所管事務調査 (町内) | 10日(火) 予算審査特別委員会 高千穂地区椎茸生産組合設立総会 (高千穂) | 8日(水) 日之影中学校入学式 町内各小学校入学式 |
| 12日(木) 総務文教常任委員会所管事務調査 (町内) | 11日(水) 予算審査特別委員会 | 10日(月) 戦没者慰霊祭 |
| 13日(金) 郡議長会 (高千穂) | | |
| 大平山トンネル工区安全祈願祭 (末市) | | |

編集後記

野山に新緑が芽生え、春の訪れを感じるようになり、新年度もスタートを切りました。

「まち・ひと・しごと創生本部」の策定への取り組みも始まり、本町の将来に向けた安心・安全な町づくりへと新たな一歩を踏み出したところでもあります。更に、本年度より「西臼杵消防署」が運用開始となり、郡民の期待に応えるものと思えます。終わりに、議会報に対しましてご要望・提案等をお待ちしております。

一水輝明

発行責任者

議長 杉本道生

議会報編集委員

委員長 飯干静香
副委員長 甲斐睦彦
委員 河野 學
委員 一水輝明